

2020年度事業計画

I 基本方針

1. 取り巻く環境の認識

世界の潮流は、米国・中国の覇権争い、自国第一主義の広がり、環境問題を巡る対立軸等、混沌としている。さらには、デジタル革命のうねり、東京一極集中と地域の疲弊、労働力不足問題に直面する今、あらゆる面で従来型の仕組みを壊し、創造する思い切った行動が必要となっている。

その際、中部圏にとって重要なことは、東京に倣うのではなく、中部圏の強みを見定め、長期的視点に立って未来に投資していくことである。

中部圏は、これまでの発展を支えてきたものづくりの基盤をはじめ、各地域が持つそれぞれの特徴を生かしながら、「多様性」「オープン化」「広域化」を「しごと」「ひと」「まち」全ての将来像に欠かせない要素と捉え、令和新時代の新たな中部圏を創生し、中部圏、ひいてはわが国の持続的な発展を実現していかなければならない。

2. 2019年度の振り返り

中部圏の進むべき道筋を示したいと考え策定した「中部圏の将来ビジョン」(2019年3月)の実現に向けた活動として、産業競争力の源となるイノベーションを生み出すべく「ナゴヤ イノベーターズ ガレージ」を始動させるとともに、広域課題をテーマとした産学官の議論の場として「中央日本交流・連携サミット」を開催し、課題認識や取り組むべきテーマを共有した。

加えて、7件の提言・報告書の策定・公表と、実現に向けた実行活動を推進した。

2019年度に策定・公表し、要請活動を実施した提言・報告書等 … 7件

- 「南海トラフ地震等が中部経済界に与える影響を最小化するために」(5月)
- 「中部圏の伝統工芸の振興に関する調査・研究 中間報告書」(7月)
- 「2020年度税制改正に対する意見」(9月)
- 「中長期的な企業価値向上に向けたコーポレートガバナンス体制の構築に関する意見」(9月)
- 「『国土強靱化税制』の整備・創設の新段階の提言」(11月)
- 「令和新時代に求められる経済政策」(2月)
- 「ITを使った中小企業の生産性向上ヒント集」(3月)

提言の実現や中部圏の発展に向けた主な具体的実行活動

- ナゴヤ イノベーターズ ガレージの開設・運営、新規プログラムの企画・運営
- 広域課題をテーマとした産学官の議論の場「中央日本交流・連携サミット」の開催
- 国土強靱化税制の拡充に向けた政府・与党への要請活動
- 広域での産官連携による事業承継セミナーの開催
- 長野、岐阜、静岡、三重各地域での地域産業活性化委員会の開催
- 産学官連携による伝統工芸の具体的な振興策の検討
- 広域連携による観光地域づくりプロジェクトでのインバウンドプロモーション活動
- 国際情勢をテーマとした連続講演会の開催
- 自治体と連携したインフラ整備の要請活動
- 産学官連携によるキャリア教育の充実・推進
- 情報発信の強化(プレスへの情報発信強化、機関誌充実、ホームページ改訂、ホームページ・メールマガジンによるWeb情報発信)等

3. 2020年度の活動方針

中経連は、世界の政治・経済の潮流、デジタル革命をはじめとする産業動向へのアンテナを高くし、課題の構造的に確に掴み、産学官で危機感・課題を共有するとともに、関係者の融合を大きな力にして中部圏を動かし続けていかなければならない。

令和新時代の新たな中部圏を創生し、持続的成長の可能性を高めていくため、経済界自らが提言・要望等で「まず声をあげる」こと、「スピード感を持って動く」ことを活動の基本姿勢とし、新しい地域づくりにつながる「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」を、各委員会に横串を通すとともに、広域での産学官連携によって総合的に推進していく。

4. 2020年度の重点テーマ

(1) 令和新時代の新たな中部圏の創生

点の動きや部分最適では、中部圏が対峙する社会・産業構造の変革に立ち向かうことは困難である。そのため、令和新時代の新たな中部圏の創生に向けて、中部圏の大学、関係自治体・機関とコンソーシアムを組成し、新たな「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」を総合的に推進していく。

また、「中部圏の将来ビジョン」で掲げた「中部圏の産学官が広域で戦略を議論・推進する場」を設け、中部圏が進むべき方向性を定め、活発な対流・交流を生み出し中部圏の持続的成長の可能性を高める施策を推進していく。

(2) イノベーションの活性化

2019年7月に開設した「ナゴヤ イノベーターズ ガレージ」では、さまざまな新しいプログラムをハンズオンで企画・運営し、中部圏のイノベーションを触発する対流・交流拠点としての機能を発揮しはじめた。この拠点が、中部圏のイノベーションハブの機能を果たし、中部圏のイノベーションを活性化できるよう、新しい価値を生み出す新たな仕掛けづくり、中部圏各地域の支援拠点との連携、国内外の先進地域とのネットワーク構築を推進していく。

(3) 多様な人材が活躍する中部圏の実現

中部圏を支え、わが国を支え、世界で活躍する人材の育成と、女性・シニア・外国人等、多様な人材が活躍する社会づくりが求められている。人口・生産年齢人口の大幅な減少が確実視されている中、労働市場の変化や日本の雇用慣行の課題・問題点を含め、中部圏の産学官が向き合うべきは何かを明確にし、具体策を打ち出していく。

(4) 地域や会員との連携を強化する活動の推進

中部圏の各地域が持つ資源や魅力を生かすとともに、その動きを面に広げていくことが重要である。そのため、地域産業活性化委員会・会員懇談会での議論を活発化させ、分野別の委員会の横串を通し、広域で連携し、地域を支える中小企業の振興、観光や伝統文化・工芸の振興、交通ネットワーク整備、物流の機能強化・スピード化、防災・減災対策について、「中部圏の将来ビジョン」の実現とあわせ、有機的な実行活動につなげていく。

特に、2020年度はリニア中央新幹線の開業にあわせた中部国際空港二本目滑走路の実現にとって、極めて重要な期間と位置づけ、地域や会員との連携を深め活動を強化する。

II 事業活動の概要

令和新時代の新たな中部圏を創生し、持続的成長の可能性を高めていくため、経済界自らが「まず声をあげる」こと、「スピード感を持って動く」ことを活動の基本姿勢とし、新しい地域づくりにつながる「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」を、各委員会活動に横串を通すとともに、広域での産学官連携の強化によって総合的に推進していく。

1. 全般

- 経済、税制、国際(多様性ある有能な外国人材の呼び込み)、人材育成(労働市場の変化を踏まえた人材育成・雇用)の各委員会で提言・報告書等の策定・公表を計画。
- イノベーションではナゴヤ イノベーターズ ガレージの運営強化・充実、社会基盤ではインフラネットワークの整備実現に向けた要請活動、企業防災では連携による提言の実現活動を推進。
- 中部圏全体の重点課題として、中部圏の持続的成長の可能性向上、「中部圏戦略会議(仮称)」の設立、中部国際空港二本目滑走路の実現、物流機能の強化等の活動を推進。
- 中部5県の知事・名古屋市長との懇談会、地域産業活性化委員会・会員懇談会、大学・学校法人との懇談会等での議論を充実するとともに、地域や会員との連携強化を図り、有機的な実行活動を強化。

2. 主要活動

(1) 委員会(およびその分野)の活動概要

委員会・分野	2020年度の主な活動計画	提言時期等
1 経済	○「令和新時代に求められる経済政策」の要請・普及 ○経済政策、法改正、規制緩和等に関する提言* ¹ 、要請、講演会の開催	* ¹ 2月
2 税制	○税制改正要望* ² の策定・要請 ○関係機関等と連携した国土強靱化税制の拡充に向けた活動	* ² 9月
3 産業・技術	○次世代モビリティ社会の実現をテーマとした調査・研究* ³ 、産学官合同イベントの開催 ○航空宇宙産業の拡大の方向性と方策に関する調査・研究* ⁴	* ³ 2021年度 * ⁴ 2021年度
4 エネルギー・環境	○パリ協定の実施や政府の動向に応じたエネルギー政策に対する意見書* ⁵ の策定・要請、脱炭素社会の実現に向けた関係者との議論の実施 ○中部圏における次世代資源循環経済圏(サーキュラーエコノミー)の形成に向けた産学官での議論の実施	* ⁵ 時宜を踏まえて
5 イノベーション	○ナゴヤ イノベーターズ ガレージの運営改善、スタートアップ支援活動の活性化、他拠点とのネットワーク強化の推進	—
6 国際	○就労外国人・留学生と企業・学校法人・行政との交流イベント・講演会の開催を通じた日本語教育、企業採用・昇格制度をはじめとする多文化共生に関する認識の可視化 ○多様な有能な外国人材の呼び込み・地域との共生の課題に関する報告書* ⁶ の策定	* ⁶ 11月
7 地域産業活性化	○中部圏の伝統工芸の振興に関する具体策の検討・推進 ○「ITを使った中小企業の生産性向上ヒント集」の普及、拡充の検討 ○事業承継、人手不足等、中小企業が抱える課題に対する関係機関との連携による施策の推進	—
8 観光	○インバウンド向け体験型観光に関する現地調査、最新動向に関する講演会等、広域での観光振興に資する活動の推進 ○広域観光地域づくりに向けた中央日本総合観光機構、関係自治体・団体との連携・支援	—
9 広域連携・地域づくり	○中部圏らしい広域的な地域づくりの実現に必要な課題・テーマ(国内全体および中部圏広域における機能強化・配置等)に関する調査・研究、講演会等の開催による機運醸成・情報発信 ○名古屋、中津川をはじめとする地域間の連携プロジェクトの推進	—
10 社会基盤	○東海環状・中部縦貫・中部横断・名二環等をはじめとする道路の早期整備、名古屋港等の港湾整備の早期実現に向けた要請 ○次世代モビリティ・技術への対応等も踏まえた次期ネットワークビジョンの策定に向けた調査・研究* ⁷	* ⁷ 2021年度
11 企業防災	○「南海トラフ地震等が中部経済界に与える影響を最小化するために」の実現に向けた普及・要請活動、関係機関との意見交換の実施、他経済団体との連携推進 ○激化する風水害に対する課題、将来的な気候変動を見据えた社会インフラのあり方に関する調査・研究* ⁸	* ⁸ 2021年度
12 人材育成	○労働市場の変化を踏まえた人材育成・雇用等に関する調査・研究および報告書* ⁹ の策定 ○産学連携によるキャリア教育の推進(大学への企業講師派遣充実、若手フォーラムの開催等)	* ⁹ 下期

(2) 中部圏全体の重点課題に対する活動概要

中部圏の持続的成長の可能性向上	○新産業・スタートアップ創出、既存産業活性化等の「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」を総合的に推進する産学官連携の具体的活動の検討と実行 ○高齢化社会への対応をはじめとする社会的課題の解決に資する活動の推進
中部圏戦略会議(仮称)の設立	○人口減少、デジタル技術革新等、将来の社会・産業構造の変化を踏まえた中部圏の産学官の関係者による課題認識の共有化、戦略の議論・推進
中部国際空港二本目滑走路の実現	○関係機関との連携による実現に向けたステップの明確化・共有化、体制強化による地域をあげた機運醸成・要請活動の推進
物流機能の強化	○物流生産性革命の実現に関する提言(2021年度)に向けたハード・ソフト面の課題等の調査・研究

Ⅲ 主要事業活動の内容

1. 社会経済制度の整備

中部圏やわが国の活性化に資する社会経済制度の整備

- 経済政策、社会制度、経済法規等に関する調査・研究、提言、要請<経済委員会>
- 「令和新时代に求められる経済政策」の要請・普及
- 経済政策、法改正、規制緩和等に関する提言、要請、講演会の開催
- 産業育成・振興に資する税制改正や補助制度等に関する調査・研究、提言、要請<税制委員会>
- 次年度の税制改正要望の策定、要請
- 経済団体、関係省庁および自民党「国土強靱化税制の整備・創設を支援する議員懇話会」との連携による「国土強靱化税制」の拡充に向けた活動の推進

2. 令和新时代の新たな中部圏の創生

- 中部圏の創生に向けた新たな「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の総合的な活動
- 大学、関係自治体・機関との連携によるコンソーシアムの組成
- 新産業・スタートアップ創出、産業・企業誘致、既存産業の活性化による雇用創出等の新たな「しごとづくり」

- 中部圏の持続的成長に必要な人材育成・確保等の新たな「ひとづくり」
- 「しごとづくり」「ひとづくり」を実現する新たな「まちづくり」
- 高齢化社会への対応をはじめとする社会的課題の解決に資する活動の推進
- 中部圏の産学官の関係者による「中部圏戦略会議(仮称)」の設立に向けた活動
- 人口減少、デジタル技術革新等、将来の社会・産業構造の変化を踏まえた中部圏の産学官の関係者による広域で取り組むべき課題認識の共有化
- 中部圏の産学官の関係者による広域課題をテーマとした会議の開催による戦略の議論・推進

3. 産業の振興

産業の技術高度化・振興

- 産業の技術高度化・振興に資する規制緩和、制度整備等に向けた活動<産業・技術委員会>
- 次世代モビリティ社会実現をテーマとした提言の策定に向けた調査・研究
- モビリティ関連イノベーションの創出につながる産学官合同イベントの継続開催と、効果的な企画立案・推進

- スペースジェットの商業化も見据え、MRO等の育成・強化、サプライチェーンの強化・高度化等、産学官連携による航空宇宙産業の拡大の方向性と方策に関する調査・研究
- 電動航空機、空飛ぶクルマ、宇宙ビジネス等、航空宇宙イノベーションへの挑戦に資する中部圏の活動支援に向けた調査・研究

中堅・中小企業の振興、地域産業の活性化

- 中堅・中小企業の振興、地域産業の活性化に資する活動<地域産業活性化委員会>
- 各地域で開催する地域産業活性化委員会や、地域産業の活性化に資するテーマの調査・研究等を通じた課題・ニーズの把握、他委員会活動との横串を通す活動の推進
- 「ITを使った中小企業の生産性向上ヒント集」の利活用の拡大に向けた普及活動の推進、利用者の意見等を踏まえた内容拡充等の検討
- 商工会議所等との連携による事業承継、人手不足等、中小企業が抱える課題をテーマとした施策の検討・推進
- 地域間連携プロジェクト活動の支援(広域での地域力の強化、広域連携による観光の推進等)
- 地域の魅力を高める伝統工芸の維持・復興・活性化に資する活動<地域産業活性化委員会>
- 中部圏の伝統工芸の振興に資する拠点のあり方・商品開発等の具体策の検討・推進
- 地域担当活動
- 各地域の自治体、商工会議所、地域金融機関等との情報・意見交換の実施

広域連携による観光の振興

- 広域での観光振興に向けた機運醸成・理解促進<観光委員会>
- 広域観光地域づくりに関する最新動向、インバウンド向け体験型観光に関する講演会の開催、現地調査の実施
- 広域での観光振興・地域づくりに関する課題の調査・研究、情報発信

- 広域連携による観光地域づくりの推進
- 関連自治体との連携事業「広域連携観光地域づくり実行委員会」の活動を通じた地域の認知度向上、観光素材の磨き上げに資する活動の検討・推進
- 留学生・在日外国人との連携による外国人視点での観光振興策の検討・推進
- 中央日本総合観光機構の「観光グローバルビジョン」の実行活動の支援
- ツーリズム東美濃協議会の支援、地域間連携(中津川・南信等)の強化

4. 安定的かつ経済的なエネルギー供給の実現と環境保全

- エネルギー政策、環境保全に関する調査・研究、提言、要請<エネルギー・環境委員会>
- パリ協定の実施に関する世界の動き、「地球温暖化対策計画」の見直しや「エネルギー基本計画」の動向に応じたエネルギー政策に対する意見書の策定・要請、他経済団体との連携活動の推進
- 脱炭素社会の実現に向けた関係者との議論の実施
- 中部圏における次世代資源循環経済圏(サーキュラーエコノミー)形成に向けた議論の実施(広域での産学官連携体制の構築に向け、プラスチックごみ問題等をテーマに課題抽出)
- 中部圏の資源循環技術の国際展開に向けた関係機関の活動支援
- 講演会・見学会の開催

5. イノベーション力の強化

イノベーションの活性化

- ナゴヤ イノベーターズ ガレージ運営改善による中部圏のイノベーション活性化<イノベーション委員会>
- 中部圏イノベーション促進プログラムの継続・進化
- 起業・スタートアップ成長支援、新規事業の立ち上げに資する活動の活性化
- 他拠点とのネットワーク強化によるイノベーションハブ化、会員・利用者の満足度向上等によるナゴヤイノベーターズ ガレージのプレゼンス向上

- 「Startup Guide」(Startup Guide社発行)のNagoya版発行によるグローバルレベルでの情報発信強化
- 中部圏のスタートアップ・エコシステムの形成
- 大学、関係自治体・機関との連携によるコンソーシアムの組成【再掲】
- 新産業・スタートアップ創出、産業・企業誘致、既存産業の活性化による雇用創出等の新たな「しごとづくり」【再掲】
- 中部圏の持続的成長に必要な人材育成・確保等の新たな「ひとづくり」【再掲】
- 「しごとづくり」「ひとづくり」を実現する新たな「まちづくり」【再掲】

6. 産業の国際競争力強化

- 国際情勢に関する情報の収集、調査報告<国際委員会>
- 最新の世界情勢をテーマとする連続講演会の継続開催
- 地域の国際化、国際競争力強化に資する環境の整備<国際委員会>
- 多様性ある有能な外国人材の呼び込みや、地域との共生に関する中部圏の実態・課題の調査・研究、報告書の策定
- 日本語教育、企業採用・昇格制度をはじめとする多文化共生に関する認識の可視化<国際委員会>
- 就労外国人・留学生と企業・学校法人・行政との交流イベント・講演会の開催
- グローバル化に関する中部圏の各種活動との協調・協働
- 行政・大学、経済団体等の活動支援、連携の推進
- 海外経済視察団の派遣
- 各国大使館・領事館、外務省、国際機関等との連携による特定地域・課題に関するセミナー等の開催

7. 広域での地域力の強化

「中部圏の将来ビジョン」の実現

- 中部圏の産学官の関係者による「中部圏戦略会議(仮称)」の設立に向けた活動【再掲】

- 人口減少、デジタル技術革新等、将来の社会・産業構造の変化を踏まえた広域で取り組むべき課題認識の共有化
- 中部圏の産学官の関係者による広域課題をテーマとした会議の開催による戦略の議論・推進

広域連携、地方分権の推進

- 広域連携、地方分権の推進に資する活動<広域連携・地域づくり委員会>
- 中部圏らしい広域的な地域づくりの実現に必要な課題・テーマ(国内全体および中部圏広域における機能強化・配置等)に関する調査・研究、講演会等の開催による機運醸成・情報発信
- 名古屋、中津川をはじめとする地域間の連携プロジェクトの推進
- 各地域の自治体、商工会議所との情報・意見交換、連携活動
- 知事等との懇談会の開催
- 地域産業活性化委員会・会員懇談会、地域担当活動を通じた連携強化

8. 社会基盤の整備・維持と大規模災害への備え

利便性・リダンダンシーの向上に向けた社会基盤の整備・維持

- 「中部圏交通ネットワークビジョン」の実現に向けた自治体等と連携した道路・港湾等の整備要請<社会基盤委員会>
- 関係機関と連携した道路・港湾等の整備に関する要請活動の実施
- 次期「中部圏交通ネットワークビジョン」の策定の準備・検討<社会基盤委員会>
- 次世代モビリティ・技術への対応等も踏まえたインフラ整備に関する課題の調査・研究

物流機能の強化

- 物流生産性革命の実現に向けた調査・研究
- ハード面・ソフト面の課題の洗い出しと対応策の検討
- 講演会、勉強会の開催、アンケート等の実施

中部国際空港(セントレア)の利用拡大と二本目滑走路の早期整備

- セントレア二本目滑走路の実現に向けた活動
 - 早期整備の実現に向けた関係機関との連携による、実現に向けたステップの明確化・共有化、体制強化による地域をあげた機運醸成・要請活動の推進
- 「中部国際空港利用促進協議会」(事務局:名古屋商工会議所、中経連)の推進
 - 航空会社機内誌やWebページによる情報発信、セントレア発着便利用のプロモーション活動の強化等、利用促進に関する協力の推進

地域や企業における防災・減災対策の推進

- 企業の防災・減災対策の推進に資する活動<企業防災委員会>
 - 「南海トラフ地震等が中部経済界に与える影響を最小化するために」の実現に向けた普及・要請活動、関係機関との意見交換等の実施
 - 激化する風水害に対する課題の調査・研究、好事例の水平展開の推進
 - 将来的な気候変動を見据えた社会インフラのあり方に関する調査・研究
 - BCP・BCMの取り組み促進に資する講演会の開催
 - 西日本の6経済連合会の防災連絡会による広域的な取り組みの推進
 - 地域の防災関係機関との連携による中小企業の自助活動の支援策等の検討・推進
- 国土強靱化税制の拡充に向けた活動の推進<税制委員会>【再掲】

9. 人材の育成

産業・地域を支える人材の育成、多様な人材の活躍推進

- 「労働市場の変化」を踏まえた人材育成、雇用に関する調査・研究<人材育成委員会>
 - 労働人口の減少等、労働市場の変化に対する危機感および人材育成・雇用に関する課題の共有、実行策の検討、報告書の策定
- 産学連携によるキャリア教育の推進

- 大学・企業との対話による内容の充実、利用の呼びかけ等による「キャリア教育共創プログラム」(旧「企業・人材プール」)の利用拡大
- 試行結果を踏まえた大学1年生と若手社員のフォーラムの本格運用の実施
- 働き方改革・ダイバーシティの推進
 - 「ITを使った中小企業の生産性向上ヒント集」の活用による中小企業の働き方改革の支援【再掲】
 - 多様な有能な外国人材の呼び込みや、地域との共生に関する中部圏の実態・課題の調査・研究、報告書の策定【再掲】

10. 会員等との連携強化

会員との連携強化

- 会員増強に向けた活動
- 情報発信の強化
 - プレスへの情報発信強化、機関誌「中経連」、ホームページ・メールマガジンでの発信強化、「中部圏経済の回顧と展望(2019～2020)」、景況アンケート、「中部圏に関する基礎的データ集」、「経済調査月報」等
- 地域会員懇談会の充実・開催
- 時宜に応じた講演会の開催による会員サービスの充実
- 70周年記念事業の準備・企画

産学官や他経済団体等との連携強化

- 産学官の連携強化に資する会議の開催
 - 中部圏の産学官の関係者による「中部圏戦略会議(仮称)」の設立に向けた活動【再掲】
- 大学・学校法人との懇談会の開催
- 他経済団体との交流・連携
 - 「中部経済4団体主催日銀講演会」(秋頃)、
 - 「西日本経済協議会」(10月総会、11月要望活動)、
 - 「各地経済団体専務理事会議」(11月)、
 - 「経済4団体新春賀詞交歓会」(1月)、
 - 「新春経済講演会」(1月)、
 - 「東海地域経済懇談会」(3月)の開催